

2023 年度 事業計画

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

I 概況

2022 年度の国内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続きましたが、会員企業に於いては電用品等の大幅な値上げ等から厳しい状況にありました。

2023 年度の国内経済の先行きについては、景気が持ち直していくことが期待されていますが、当業界と密接な関係にある建設業および物流業の 2024 年問題をはじめとした不確定要素やリスクに十分注意する必要があります。

この様な調達環境の変化および経済動向を注視しつつ、業界への影響を把握し、様々な課題の解決に向けて取り組んでいきます。

II 主要実施予定事業

1. 調査研究・標準化事業

1.1 調査研究事業

(1) 災害時に適応する配電盤類の検討

2022 年度の継続として、防災と減災に有効な機器・装置を備えた配電盤類について、JSIA-M1020 災害時に適応する配電盤類 として作成を目指します。

(2) (仮称) 盤類の機械的検討ガイドブック

2022 年度の継続として、盤類の機械的検討について盤メーカーが必要と思われる項目について、テーマ選定し「盤類の機械的検討ガイドブック」の作成を目指します。

第 1 章:アイボルト選定、第 2 章:溶接、第 3 章:機械的強度計算

第 4 章:強度計算と構造解析・・・等

1.2 規格、技術資料の改定・標準化事業

電気エネルギーを安全に使用するため、配電制御システムに関する規格や基準の制定・改定を計画的に行い、公開します。

(1) JIS C 8480「キャビネット形分電盤」の改正

2022 年度の継続として、ねじなし端子(台)やエコマテリアル電線などを盛り込んだ改訂版キャビネット形分電盤の公示に向けた活動を行います。

(2) JSIA-T2001「配電盤類の更新推奨時期判定の手引」の改正

2022 年度の継続として、手引の改正を進め、公開します。その後、配電盤類の更新を適正な時期に行うことを促す更新推奨パンフレットを作成します。

(3) 技術資料「配電盤類に適用するサージ防護デバイス (SPD) の取り扱い指針」の作成

2021 年度の継続として、配電盤類内の設置に適した SPD 取り扱い指針を取りまとめます。

1.3 外部技術委員会との意見交換

各種最新動向の収集、技術情報の共有を目的に、他団体の委員会と情報交換会を開催し

規格・基準への反映、啓蒙を図ります。

2. システム検査事業

(1) 配電制御システム検査技能審査試験の実施

配電制御システムの検査業務に従事する技術者の知識及び技能の向上を目的として1995年（平成7年）より「配電制御システム検査技能審査試験」を実施しており、今年度も10月第3土曜日に全国9会場で実施を予定しています。

(2) 技能検定試験の実施

厚生労働省 人材開発統括官所管の特別民間法人である中央職業能力開発協会からの依頼により、「電気製図」及び「電気機器組立て」の2職種の国家検定について中央技能検定委員を派遣するとともに、各都道府県職業能力開発協会から委託を受けた支部は、都道府県技能検定委員の派遣や技能検定試験を実施します。

3. 講習会、セミナーなど

(1) セミナー

各種セミナーの開催を検討します。

(2) JSIA 優良工場指定講習会

技術者・技能者の育成、標準化活動、適合性活動について、課題の整理・選別を行い、他団体・企業と協力し、技術力の強化に向けた活動を継続・推進します。

4. 認定事業

(1) 耐熱形配電盤等認定事業

耐熱形配電盤の認定事業を実施します。

(2) 耐熱形配電盤等機器認定事業

耐熱形配電盤等に用いる機器の性能、構造及び材質等の品質確保を図るため、認定機器及び登録機器の認定を実施します。

(3) JSIA 優良工場認定事業

2020年度から JIS Q 9001 の品質マネジメントシステムが構築されていることを前提として、機種別規格適合審査（配電盤、分電盤、制御盤）に移行しました。

本審査として今年は4年目を迎えました。配電盤、分電盤、制御盤それぞれの JIS 又は JSIA 規格等の適合性を検証する形式検査、及び同等品質の製品を継続して製造できることを重点確認ポイントとして審査を行います。

なお、本審査を対外的にわかりやすく紹介すること、認定会員の認定申請手続きや認定の維持・運営を進めやすくすることなどを目的に、JSIA ウェブページ内の優良工場認定制度に関する一般向け、及び優良工場専用の記事を見直し、様式や記載例、手順書などを充実させたりリニューアルを行います。

5. 経営の改善に関する事業

(1) 事業推進活動

建設・物流業界の2024年問題もあり、当業界だけではなく、社会全体が目まぐるし

く変わり、先行きが見えにくくなっています。この様な環境認識において、会員企業単独では解決が難しい事案について、工業会として業界全体での対応策の検討や関係各所への働き掛けを行っていきます。各社の取り組みやエピソードの共有化、意見交換を行いながら、工業会としての対応力の強化に繋げていきます。

6. その他の事業

(1) 青年部活動

第4回青年部全国大会を10月5日～6日に大阪市で開催する予定です。各支部の青年部事業の報告、視察会などを通じて、交流を深めていきます。

(2) 証明書の発行（中小企業等経営強化法の経営力向上設備税制）

中小企業等経営強化法の「経営力向上設備税制」は、2025年3月まで延長されましたので、引き続き「受変電設備」の証明書発行団体として、円滑な処理に努めます。

(3) 出版事業及び成果物の開示

技術資料や調査研究事業の報告書は、技術力向上のため、研修や自己研鑽のテキストとして、ウェブページで公開や出版物として発行します。

(4) 自主統計の実施

業界動向を継続的に把握するため、各種統計調査を行います。引き続き多数の会員の皆様方のご協力をお願いします。

四半期毎に「景況観測調査」また、年1回「経営分析調査」「生産統計調査」「賃金実態調査」を継続的に実施し、ウェブページに掲載します。

(5) 広報活動

「ウェブページ」や「JSIA ニュース」を活用し、JSIAの取り組みや成果、国の施策、省エネなどの有益と思われる情報のタイムリーな発信に努めます。

また、JECA FAIRへの出展などにより、対外的な認知度の向上に努めます。

【主な広報媒体は以下の通り】

- ・機関誌「JSIA」・・・年1回
- ・JECA FAIR 2023（第71回電設工業展、インテックス大阪）への出展
JSIA事業の概要を分かりやすく伝えて、JSIAの市場認知度アップに努めます。
- ・「JSIA ニュース」の配信・・・必要の都度（月1回程度）

(6) 表彰事業

永年にわたり業界及び本会の発展に貢献された方々を称えるため、下記の表彰を行います。

- ・配電制御システム工業永年功績者表彰
- ・優良従業員表彰

(7) PL 保険事業

1997年から配電盤類の事故による納入先への損害補償制度を実施しています。

また、PL保険に加え、対人・対物事故を伴わない経済的損失をカバーできる保険（E&O保険）も取扱っています。

Ⅲ 支部実施予定事業

本部の方針に基づき実施する事業のほか、それぞれの地域の実情に即した事業活動を推進していきます。最新技術動向の把握や技術力向上に向けて、委員会や講習会などをタイムリーに実施します。

また、関係官庁、関係団体との意見交換・交流を通じ、本会の地位向上・取引の改善を図ります。

1. 共通して実施する事業

(1) 広報活動

ウェブページによる情報発信、関係官庁、関係団体などから入手した情報提供及びパンフレット等の配布などを行います。

(2) 経営改善事業

関係団体等との連携、協議などにより地域の実情に沿った事業の推進に努めます。

(3) 配電制御システム検査技能審査事業

配電制御システム検査技能審査試験を実施します。

(4) 講習会、研修会、セミナーなどの開催

各種試験の受験に向けて技術講習会、電気技術関連研修会、JSIA 優良工場指定講習会、工場見学会などの教育・訓練の推進をします。

(5) 交流事業

- ・ 関係機関、関係団体、会員相互の意見交換及び交流を行います。
- ・ 野球大会、テニス大会など支部の特徴を生かした交流事業を実施し、健康の増進に努めます。

(6) 青年部活動

若手経営者による情報交換、交流会などを必要に応じ各地の青年部と連携して行います。

2. 一部の支部で実施する事業

(1) 技能検定試験

下記のとおり実施します。

なお、中部支部の試験は、愛知県電機技術工学院で行っています。

- ・ 配電盤・制御盤組立作業・・・北海道支部、東京支部、中部支部、関西支部
- ・ 配電盤・制御盤製図作業・・・北海道支部、東京支部、中部支部、関西支部
- ・ シーケンス制御作業・・・東京支部、中部支部、関西支部
- ・ 電子機器組立作業・・・中部支部、関西支部

(2) 表彰事業・・・東京支部、四国支部

(3) 事務受託・・・東京支部、中部支部